

ninebot[®] S-PRO

クイックスタートマニュアル

技術の向上、ファームウェアの更新により、S-PRO 機能は本書記載のものと異なることがあります。最新の機能、安全上の注意事項については、Ninebot アプリをインストールしてご確認ください。

www.ninebot.com

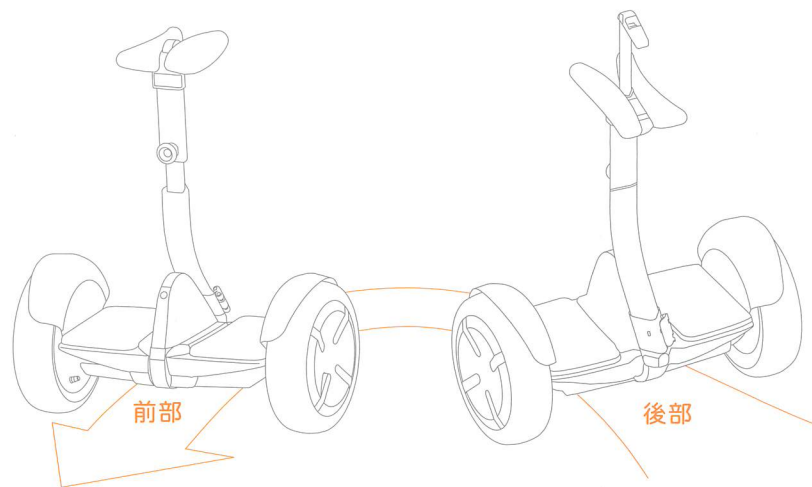
目次

| | |
|---------------------|----|
| 1 パッケージ内容 | 01 |
| 2 Ninebot™ s-PRO 概要 | 02 |
| 3 ダッシュボードのアイコン | 03 |
| 4 s-PROを組み立てる | 04 |
| 5 はじめの一步 | 05 |
| 6 充電 | 06 |
| 7 運転のしかた | 06 |
| 8 警告 | 08 |
| 9 禁止事項 | 09 |
| 10 安全運転 | 10 |
| 11 持ちかた | 11 |
| 12 お手入れ | 12 |
| 13 仕様 | 13 |
| 14 危険物表示 | 14 |
| 15 商標、法規 | 14 |
| 16 アフターサービス | 15 |

Ninebot™ S-PROをお買い上げいただき ありがとうございます

Ninebot™ パーソナル・トランスポーテーション・ロボット、Ninebot™ S-PRO(以下S-PRO)をお買い上げいただきありがとうございます。S-PROは、スマートフォンアプリ機能を持つバランスビークルの新しい形です。

自由な乗り心地をお楽しみください。

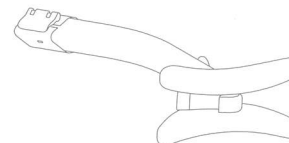


※後部から乗り降りしてください。

後部以外から乗車すると、操縦方向が異なるため衝突 / 転倒する恐れがあります。

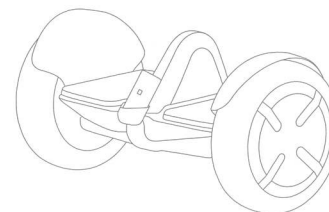
1 パッケージ内容

二ーコントロールバー

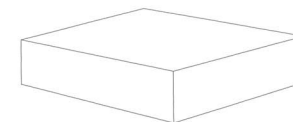


1. ユーザーマニュアル
2. 保証規定
3. 保険のおすすめ
4. 注意

メインフレーム

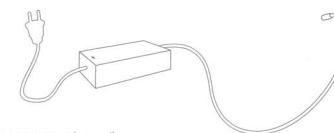


アクセサリ
ボックス



ボックスのアクセサリ

充電器

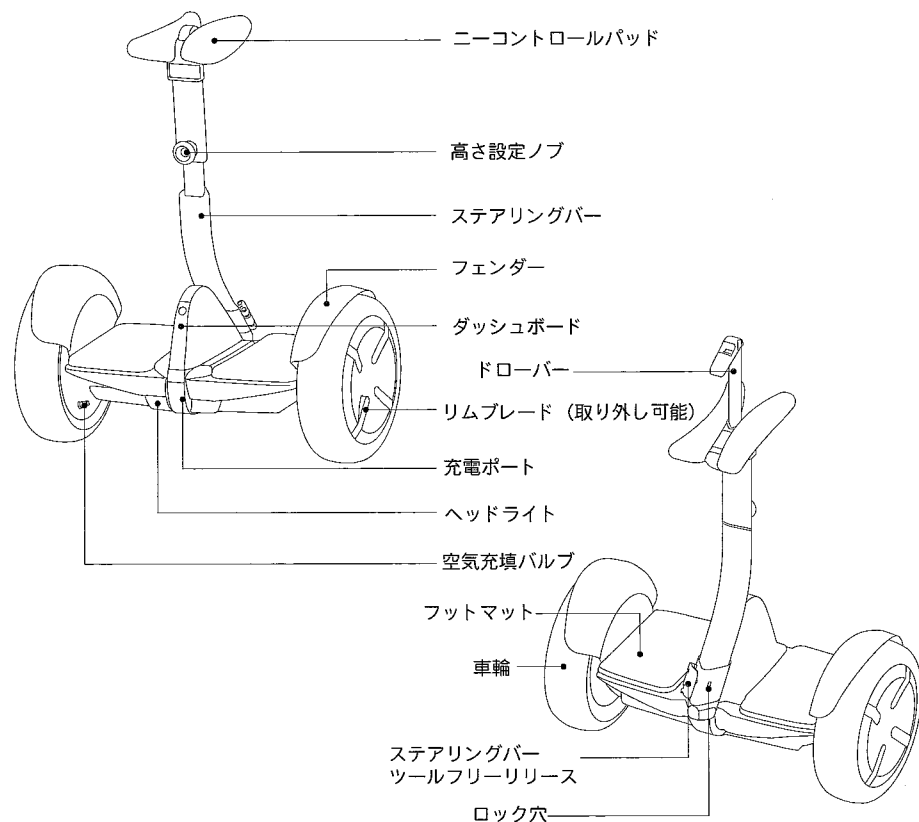


空気充填用延長バルブ

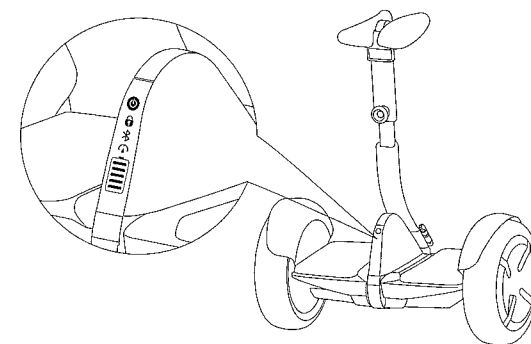
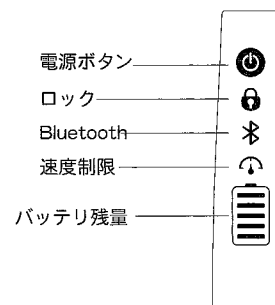



メインフレームを取り出す時に、上記の通りパッケージにパーツが入っていることをお確かめください。入っていないパーツがある場合は電子メール (support@e-otomo.co.jp) でお問い合わせください。アクセサリを使用 / 取り付ける前や、メインフレームのお手入れをする前に、S-PROの電源を必ず切り、充電ケーブルを取り外してください。


2 Ninebot™ s-PRO 概要





3 ダッシュボードのアイコン




-  **電源ボタン** 電源をオン/オフします。s-PROは、電源が入ってから10分間操作がないか、メインフレームを5秒以上倒した状態で自動的にシャットダウンします。

-  **ロック** s-PROは、アプリによってロックモードにすると、本体を動かした場合に振動してアラームが鳴ります。アプリとペアリング中に本体をロック状態で動かした場合、スマートフォンが連動してアラームを鳴らします。

-  **Bluetooth** Bluetoothアイコンが点滅する時、Bluetoothはオンですがスマートフォンアプリに接続されていません。Bluetoothアイコンが点灯している時、Ninebotアプリがs-PROに接続されています。

-  **速度制限** 速度制限アイコンがオンの時、s-PROは低速になります。速度リミットの時速に近づくとき、フットマットが傾き、危険を知らせます。アプリでオン・オフ/調節ができます。

-  **バッテリー残量** バッテリー残量を示します。バッテリー切れが表示されたら（電源アイコンが点滅）s-PROの充電が必要です。アプリを使い、残量と走行可能距離を読み出します。30%未満の時、s-PROは最大制限速度を下げしていきます。10%未満になると走行は困難になりますので、充電していただくようお願い致します。

4 S-PROを組み立てる

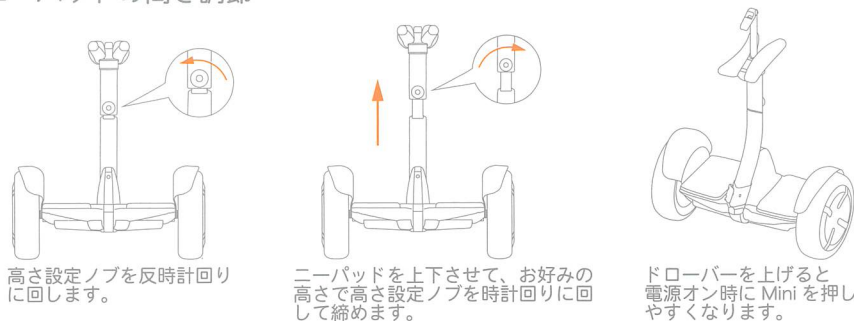
ステアリングバーを取り付ける

- 1 ステアリングバーのツールフリーリリースを開放します。
- 2 ステアリングバーをメインフレームのステアリングソケットに差し込みます。
- 3 クイックリリースを締めて固定します。



組立後、電源オン/オフ状態を確認します。
安全のため、この時にS-PROは正常に動作しません。電源オン後にピープ音が鳴り、走行速度とステアリング感が落ちます。正常に動作しないS-PROでは走行できません。Ninebot アプリをスマートフォン (Bluetooth 4.0以上) にインストールし、S-PROを Bluetooth® で接続してから、アプリの指示に従ってS-PROを通常のモードにしてください。

ニーパッドの高さ調節



高さ設定ノブを反時計回りに回します。

ニーパッドを上下させて、お好みの高さで高さ設定ノブを時計回りに回して締めます。

ドローバーを上げると電源オン時に Mini を押しやすくなります。

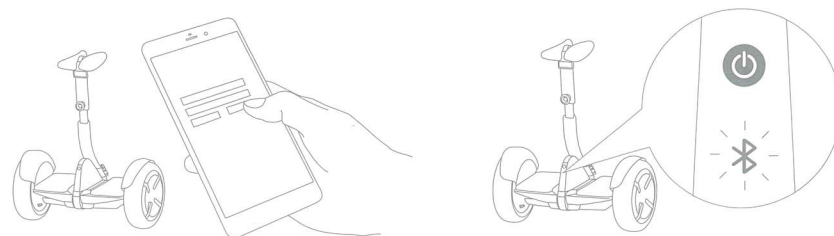
5 はじめの 一歩

初めて使用する前に安全上の注意事項をご覧ください。



S-PROを初めて操作する前に、Ninebot アプリをインストールする必要があります。アプリによって安全上の注意事項を表示し、新規ユーザーチュートリアルに従います。QR コードをスキャンして Ninebot アプリをインストールします。

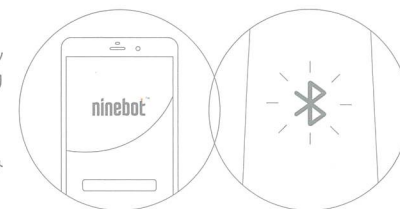
アプリのスキャンとインストール (iOS 5 以上、Android 4.3 以上)



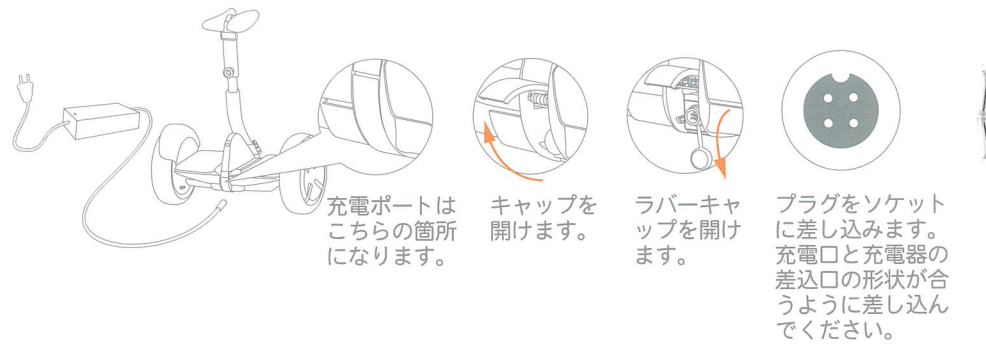
- 1 アプリをインストールし、登録 / ログインします。
- 2 電源オンで Bluetooth® アイコンが点滅します。S-PROが接続を待っている状態です。

- 3 “検索デバイス” をクリックしてS-PROを接続します。接続すると“ピープ音”が聞こえます。ダッシュボードの Bluetooth® アイコンがオンになります。

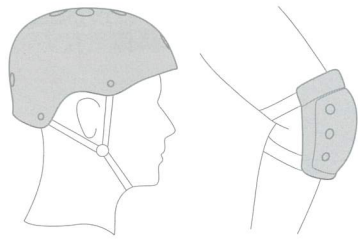
アプリの指示に従い、安全運転の方法と楽しみ方を覚えてください。



6 充電



7 運転のしかた



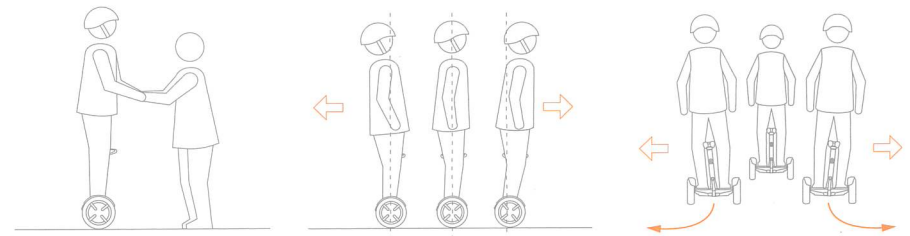
安全のため、ヘルメット/手首と膝の保護具を着用してください。

アプリが通常モードになると“新規ユーザーチュートリアル”が表示されます。指示に従うか次の図を参考に練習してください。

安全のため、“新規ユーザーチュートリアル”に合格するまで、最大速度は時速約7kmに制限されます。新規ユーザーチュートリアルに合格後、最大速度は最初の約1キロが時速約10kmに制限されます。約1km運転後、速度制限モードを解除するにはアプリを使います。

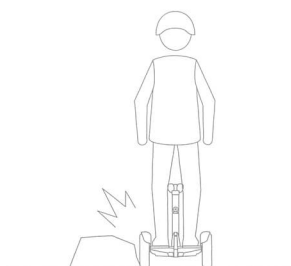


- 初めての運転では周りに何も無い平坦な場所で補助員に乗せていただけてください。乗る時は後部から乗ります。
- 片足をしっかりと固定してフットマットに乗ります。両脚でパッドを軽く挟んでください。
- 重心をマットの脚にゆくり移して、もう片方の脚もマットに乗せてください。

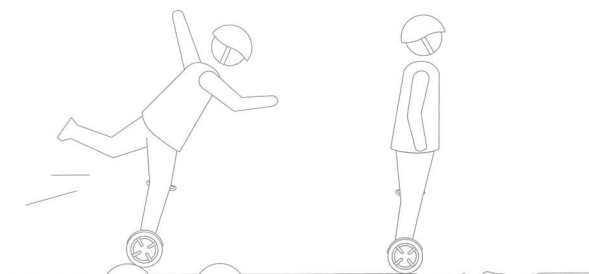


- 両足をフットマットに乗せたまま、リラックスし、まっすぐ前を向き、大きく揺れないようにしてください。
- 両足をフットマットに乗せたまま、上体をゆくり前後に傾けて動きを調節します。
- ステアリングバー/ニーパッドにゆくりもたれかかり左右にカーブします。

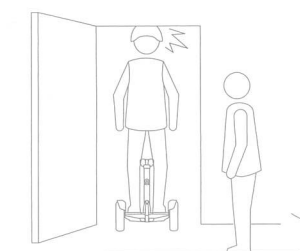
8 警告



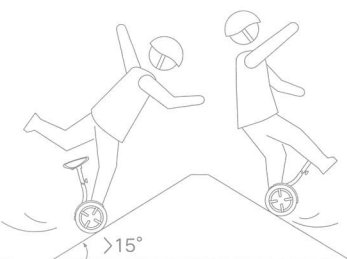
⚠ タイヤの縁が障害物に触れないようにしてください。触れた場合S-PROをコントロールできなくなります。



⚠ 平坦でない道では時速約3~5kmで走行してください。この範囲を超えるとバランスを失い、危険です。



⚠ 頭上のスペース/ドア枠に注意してください。

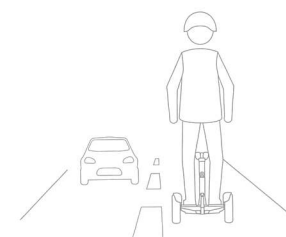


⚠ 15°以上の斜面は避けてください。バランスを失い、危険です。

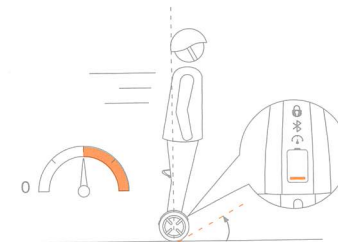


⚠ 急加速、急減速は避けてください。

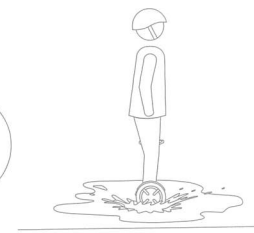
9 禁止事項



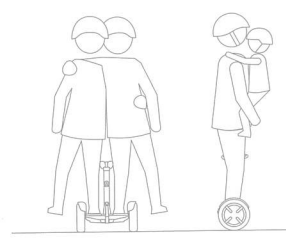
⊗ 私有地以外使用禁止。違法になります。



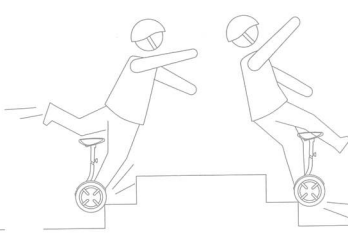
⊗ S-PROのアラームが表示されている時、フットマットが傾斜している時に運転、加速はお止めください。



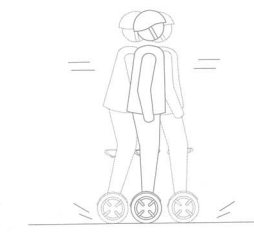
⊗ 水たまりは避けて走行してください。



⊗ 1人以上の乗車。特にお子様との乗車はお止めください。



⊗ 階段/エスカレータの乗り降りには危険ですのでお止めください。

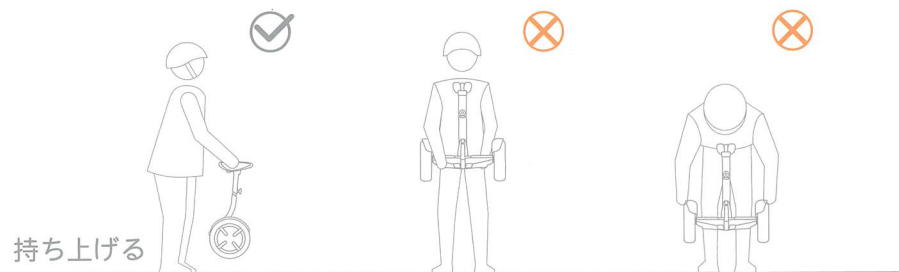


⊗ 振子動作はしないでください。

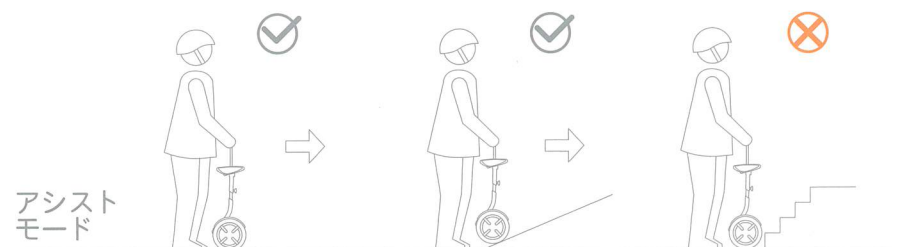
10 安全運転

- S-PROは移動手段ではなく娯楽、レジャーのための道具です。
本マニュアルの指示、警告を守ることによって危険を減らすことができますが、すべての危険をなくすことはできません。S-PROを使用する際、安全上の注意事項をすべて守っても、コントロールを失う、衝突、転倒の危険があります。速度を上げるとそれだけ停止するまでの停止距離が長くなります。平らな面で急にブレーキをかけると車輪がスリップしてバランスを失い、転倒する恐れがあります。乗車中は十分に注意しながら速度を落として安全運転を心がけてください。
- 常に通行人に道を譲ってください。歩行者がいる場所での使用は、歩行者優先です。周りを驚かさないようにしてください。後ろから他の歩行者やナインボットに近づく時は、声をかけ、速度を落としてください。
- 規制のない私有地でも必ず本マニュアルの安全上の注意事項を守ってください。Ninebot 社及び髹オオトモでは、安全上の注意事項を守らないことによって生じた人身、物品の損失、事故、訴訟について一切の責任を負いません。
- 本マニュアルを十分読み新規ユーザーチュートリアルに合格するまではS-PROに一人で乗らないでください。初めて、乗車される際は補助員にも保護具を装着してもらい、補助員に支えていただいでください。
- 必ず乗る前に毎回各部の、緩み、破損、タイヤの空気圧不足など異常がないかチェックしてください。乗車中、異常な音やアラームが鳴った場合はすぐに使用を止めてください。Ninebot アプリでS-PROをチェックし、専門家の指示やメンテナンスが必要な場合はご購入された販売店か、髹オオトモのサポート部 (support@e-otomo.co.jp) にお問い合わせください。

11 持ちかた



S-PROが電源オンで、オートバランスモードで運転時、安全のため、タイヤが浮くと出力は自動的にカットされます。タイヤが地面に付けばバランスモードに自動的に復帰します。フェンダーやメインフレームを持たないでください。フェンダーで指を怪我することがあります。
※図を参考にしてください。



ドローバーを引いてアシストモードにし（電源オン時に自動的にこのモードになります。）、非走行モードでS-PROを水平に押し、軽くアシストするので楽に移動できます。階段ではS-PROを押しではなく持ち上げてください。
※図を参考にしてください。

12 お手入れ

S-PROの掃除とメンテナンス

少し水を含ませた柔らかい布（マイクロファイバーなど）でNinebotのメインフレームを拭いて汚れを落とします。プラスチック面で落としにくい汚れは、練り歯磨きをつけた歯ブラシでこすり落とし、水に浸した布で掃除します。プラスチック部分の傷は研磨紙などで磨けます

※: Ninebotはアルコール、ガス、石油、アセトンなど腐食性、揮発性の溶剤で洗わないでください。外観や内部の構造物を損なうことがあります。パワーウォッシャー、高圧ホースなどでS-PROを洗わないでください。メンテナンスをする時は電源オフにして、充電ケーブルは外して、充電ポートのラバーキャップはしっかり締めていることを確認してください。感電や本体が故障する原因になります。

S-PROは乾燥した冷暗所に保管してください。屋外で保管/放置しないでください。日光が当たる場所、高温/低温の場所に放置すると外観の劣化が進み、バッテリー寿命が短くなります。

バッテリーパックのメンテナンス

バッテリーは外気温度が50°C以上の場所、又は外気温度が-20°Cより低温の場所に放置しないでください。バッテリーパックは火気厳禁です。バッテリーのメンテナンスで注意すべき他の事柄についてはNinebotの下部にあるバッテリーパックの詳細をご覧ください。

使用を終えた後は必ずバッテリーを充電し、一日で電源を消耗することは避けてください。常温で使用時、バッテリーパックは通常の性能を保ちますが、0°C以下の環境で使用する場合、バッテリーの耐久性と出力が低下します。通常、外気温度が-20°Cを下回る環境の場合、走行距離は常温25°Cの時の約半分になることがあります。バッテリーの走行距離は温度が上がると回復します。詳細はアプリで確認できます。

※: 通常、完全充電したバッテリーは、Ninebot™ S-PROに取り付けられている場合、スタンバイモードで約120日～180日で消耗します。低電力のバッテリーは、Ninebot™ S-PROに取り付けられている場合、スタンバイモードで約30日～60日で消耗します。使用後は必ずバッテリーを充電してください。電力を消耗しすぎるとバッテリーが破損することがあります。バッテリー内のチップがバッテリーの充電放電状態を記録します。過剰放電による破損は保証の対象外です。（技術者ではない人がバッテリーパックを分解することは禁じられています。）

13 仕様

| 索引 | 項目 | N3M320 パラメータ |
|----------|--------------------|---|
| 区分 | 長さ×幅 (mm) | 262×546 |
| | メインフレーム高さ [1] (mm) | 611～866 |
| 重量 | 荷重 (kg) | 20-100 |
| | 正味 (kg) | 約 12.8 |
| ユーザー要件 | 対象年齢 | 16～60 |
| | 対応身長 | 120～200 |
| 機械パラメータ | 最大速度 (km/h) | 約 15 |
| | 標準走行距離 [2] (km) | 約 30 (理論値) |
| | 最大登板角度 | 約 15° |
| | ビギナーモード | 累計走行距離 1km 以上で解除可能。アプリでリセット可能 |
| | 対象地形 | 舗装路、15°以下の傾斜路、1cm以下の段差 |
| | 動作温度 (外気温) | -10°C～+40°C |
| | 保管温度 | -20°C～+45°C |
| バッテリーパック | 公称電圧 (VDC) | 54.8 |
| | 最大充電電圧 (VDC) | 63 |
| | 公称容量 (Wh) | 310 |
| | スマート BMS | バランスがとれない / 過荷重 / 低電圧 / 過温度のアラーム時自動的に電源オフ。バッテリーの状態はアプリで確認可能 |
| モーター | 公称出力 (W) | 400×2 |
| | 最大出力 (W) | 800×2 |
| | コンプライアンス | CCC, CE |
| 充電器 | 公称出力 (W) | 120 |
| | 公称入力電圧 (VAC) | 100~240VAC/50~60Hz |
| | 公称出力電圧 (VDC) | 約 63 |
| | 公称出力電流 (A) | 約 1.9 |
| | コンプライアンス | CCC / CE / FCC / PSE / UL / SAA / KC |
| | 充電時間 (h) | 約 4 |

[1] メインフレーム高さ: 地面からメインフレーム最大高さまでの距離。

[2] 標準走行距離: 全出力テスト・荷重 70kg、周囲温度 25°C、舗装路平均速度 15km/h

注: *の付いたデータ、パラメータは変更されることがあります。

14 危険物表示

| コンポーネント | Pb | Cd | Hg | Cr (VI) | PBB | PBDE |
|----------|----|----|----|---------|-----|------|
| プラスチック部 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ダッシュボード | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| LED | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ステアリングバー | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| メインフレーム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| バッテリーパック | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| モーター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 充電器 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○ 含有毒物、危険物の量は SJ/T11363-2006 規格未満です。

× 含有危険物が SJ/T11363-2006 規格を超えます。

15 商標、法規

Ninebot™、形状アイコンは Ninebot (北京) Technology Co., Ltd. (Ninebot Inc.) の登録商標です。iPhone、iOS は Apple Inc. の登録商標です。Android は Google Inc. の登録商標です。商標所有者は本書記載の商標の権利をすべて保有し、Ninebot 社は Ninebot™、形状アイコンの権利をすべて保有します。

Ninebot 社は Ninebot パーソナルトランスポーターシオンロボットに関する各種特許、他の申請中の特許の所有者です。本書は Ninebot 社が作成 / オオトモが修正しました。本書の著作権は Ninebot 社が保有します。Ninebot 社の文書による同意なく本書を配布し、前記特許を使用することはできません。

本書印刷時に Ninebot 全機能を説明し、指示内容、注意事項を網羅するよう努めていますが、機能の向上、設計変更があるため、お買い上げいただいた Ninebot と異なる事柄があり得ます。スマートフォンなどのモバイル機器で 5 ページの QR コードをスキャンし、Ninebot アプリをインストールしてユーザードキュメント最新版を入手してください。機能の異なる様々な Ninebot モデルがあり、本書記載の機能は一部、お買い上げいただいた Ninebot に組み込まれていないことがあります。Ninebot 社は、色、外観に関し、製品が本書記載のものとは異なることを説明する権利を保有します。

16 アフターサービス

運転、メンテナンス、安全に関する問題、S-PROの故障については、下記の方法でお問い合わせください。Ninebotアカウント(下記)のQRコードがあります。モバイル機器でスキャンしてインストールできます。

ナインボット (本社) : F1, Building A-1, Northern Territory of Zhongguancun Science Park, Xixiaokou Road No.66, Haidian District, Beijing, China

株式会社オオトモ (本社)

電話 : 06-6654-3169 FAX : 06-6654-3309

電子メール : info@e-otomo.co.jp

support@e-otomo.co.jp (アフターサービス)

メーカー住所 :

〒559-0025

大阪府大阪市住之江区平林南1丁目5-15

製品規格: Q/320412NCZ001-2015

他の取得認証 :

UN38.3 セル、バッテリーパック認証 UN38.3 テスト、認証
2014/30/EU EN 61000-6-3:2007+A1:2011, EN 60950-1:2006+A12:2011
2014/35/EU EN 60204-1:2006/AC:2010, EN 60950-1:2006/AC:2011, EN 60034-1:2010/AC:2010
2006/42/EC EN ISO 12100:2010, EN ISO 13849-1:2008/AC:2009, EN 62061:2005/AC:2010
EMC ETSI EN 301 489-1 V1.9.2 (2011-09); ETSI EN 301 489-17 V2.2.1 (2012-09)
RF ETSI EN 300 328 V1.8.1 (2012-06) 安全 EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011+A2:2013
SAR EN 62479:2010 FCC PART 15C FCC 規格 Part15.247 REACH 2012/19/EU

本器は FCC 規格 PART 15 に準拠します。動作は以下の 2 つの条件に従います : (1) 本器は有害な電波干渉を発生させることはない、(2) 誤動作を発生させる可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要がある。

注:本器は、テストの結果、クラス B デジタルデバイスの制限に適合し、FCC 規則第 15 部に準拠していることが認められました。これらの制限は、住宅への設置によって生じる有害な干渉からの適切な保護を目的として規定されています。本器は高周波エネルギーを発生、使用し、また放射することがあるため、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、干渉が生じないことが保証される特別な設置方法はありません。本器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を現に引き起こしている場合(装置の電源をオン/オフすれば判別できます)、干渉を防止するため以下の 1 つまたは複数の対処方法を試してみingことをおすすめします :

- 受信アンテナの方向または位置を調整する。
- 本器を受信装置から遠くに設置する。
- 本器を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富な無線/テレビ技術者に問い合わせる。

ウェブサイト



Facebook



www.ninebot.com